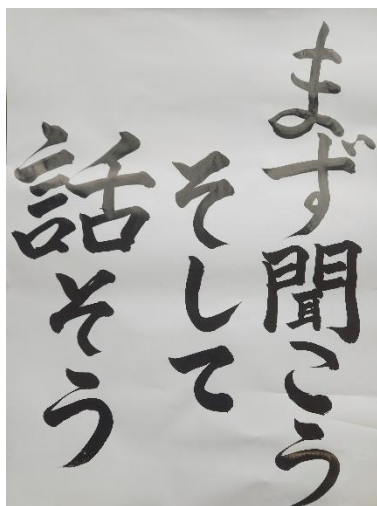


慶念寺々報

つなぐがかり

慶念寺の掲示板 第三十八回



「まず聞く 話を話そう」

これは、私がお坊さんになったときから心がけていることで、意識していかないと実践できなくなってしまうことでもあります。

幼いころから私はお喋りでした。しかし、大人になるにつれて「自分ばかり話していると、相手の顔が曇るんだ」と気が付きました。

その後、学生のころに受けた授業で「悩みを聞くうえで、傾聴は非常に重要である」と学びました。あくまでも心理学を通して僧侶としての心構えを学ぶという講義ですが、僧侶とは「話す側」と勝手に思っていた私にとって目からうろこが出る思いでした。私はそれまで「何かを伝えよう」と思いあれやこれ



やと言葉を重ねていたのです。しかし、大切なのはじっくりと耳を傾けて、否定せずに相手のお話を聞いていく。言葉を重ねることは、必ずしも重要ではないのです。これを心がけるようになって、相談を受ける際にもお話をしていただけが増え、お話が終わった後の相手の顔もいくらか明るくなるようになった気がします。



もちろん「お坊さんに話すということはお坊さんに何か話してほしいということでもある」と思うので少しお話しすることもあります。でも、あくまでも聞いたうえで、短くシンプルにお話することを心がけています。よく考えると、身近な尊敬している方は皆さん聞き上手なのです。聞き上手でいてくれる相手がいるからこそ安心して伝えられる。昨今「子どもや孫に迷惑をかけたくないから」と今後の準備お話をされることが多くあります。しかし、先回りしてしまったからこそ、遺される方が困ってしまうこともあるのです。大人になると親には「もっと頼って欲

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきます。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また **日程や会場・葬儀社が決められても、お寺への連絡は直接お願いいたします。**

しい」子どもたちには「迷惑をかけたくない」多くの方がそう思うのではないのでしょうか。私もそうです。自分の中でも思いがすれ違っているのです。

だからこそ、親や子どもたちの話を聞き、自分の思いを伝えてみることも大切なのではないのでしょうか。「こう考えてるんだけど、どう思う？」相手の気持ちを聞いたら、自分の考えも整理できるかもしれません。もちろん、悲しい思いをすることもあるかもしれませんが、それによって進むべき道が見つかるともあるはずですよ。

門徒総代さんのご紹介

二人目の門徒総代さんをご紹介します。

慶念寺の門徒総代に選任されました松尾多見也で御座います。



私は福岡県北九州市の生まれで、終戦の昭和二十年父の実家である大分へ引き揚げた為、大分育ちです。

東京の方へ出て来て六十歳まで会社勤めでした。二十二歳のころ登戸界隈に住まいを移し、現在に至っております。

慶念寺さんを知り得たのは、二年前の令和四年八月頃のタウンニュース。齢七十五歳を過ぎ、この地に骨を埋める覚悟でお墓を準備している最中でした。

松尾家のお寺さんは代々浄土真宗本願寺派であるが故、身近なところにと探しているところでした。



「ご法話を拝聴する事で浄土真宗のことを深め知ることが出来たらと、門を叩きました。以来ご縁を続けさせて頂いています。」

未熟者ですが今後とも御指導旁々宜しくお願ひ申し上げます。(松尾)

松尾さんは、法話会などにはほぼ皆勤してくださり、熱心にお聴聞していらつしやいます。慶念寺の事にも、積極的に提案をくださるとても頼りになる方です。

神奈川組の慶讃法要が勤まります

神奈川組(かながわそ)と



いのは、川崎と横浜の一部の同宗派のお寺の集まりで、合同で行事をして、法要などで助け合うコミュニティです。

この度、神奈川組で親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年の慶讃法要を十二月十四日にエポック中原にて行います。法要に引き続き、協賛行事としてお笑いコンビの「メンバー」さんをお迎えいたします。住職は法要に協賛行事に奔走する予定です。詳細は別紙をご覧ください。

帰敬式のおすすめ(法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たに、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

これに際しまして、十二月の法話会はこちらの慶讃法要に振替をいたします。参加申し込みが必要ですので、同封の申込書をご記入の上、慶念寺までお持ちください。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年十一月二十三日(土)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

今月は、法話会の後に発送作業を行います。みんなまでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。

次回の法話会は

十一月十七日(日) 十四時から 慶念寺本堂にて

「宗祖報恩講並びに開所記念法要」

をご講師に浄雲寺の「荒木尚太先生」お招きして行います。

こちらの法要は、慶念寺でも一年で一番大切にしている法要で、お飾りもお袈裟も特別な物を使用して行います!

ご法話も新進気鋭の若手布教使さんです。皆様のお参り、心よりお待ちしております。皆様にぜひともお参りくださいませ!



編集後記

この寺報を書いている今、隣のお寺の住職継職法要のお手伝いが終わり、今度は川崎市仏教会(川崎市全体仏教寺院の集まり)の戦没者追悼法要に向けてんやわんやしております。宗派が変わるとやり方が変わる。ましてや浄土真宗は割と特殊な部類なので頭からぶしゅっつと煙が出そうです。

さて、上にも書きましたが、十一月と十二月の法話会は超豪華。十一月は一年で一番慶念寺にとっては大事な法要。住職も今から少しづつ準備を進めております。お土産もある予定です!

そして十二月。この慶讃法要に向けて住職も一年以上準備をしておりました。ふたを開けてみるとやることがいっぱい。たぶん、裏に表に色々頑張っていると思いますので、応援も兼ねてぜひご参拝ください! 協賛行事も楽しそうですよ!



浄土真宗本願寺派 歓喜山 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com
ホームページ URL
https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード